



1. 活動日時：2014年11月8日（土） 10：00～15：00
2. 参加者：12名（現役GS：5名+金井さんの奥様 社友GS：6名）
3. 活動内容
 - ・今回は、作り置きしている3個のフクロウの巣箱が架けられれば十分と考えていましたが、役割を分担して進めた結果、懸案だったシイタケのホダギの本伏せを済ませた上に、2年近く手が付けられなかった暗渠周りの草刈り迄7割がた終わることが出来ました。
 - ・また昼は、現役GSの金井さんの奥様の心づくしのトン汁を頂きながらの昼食で、大いに和みました。参加頂いた12名の皆さん、本当にお疲れ様でした。
4. 今後の活動
 - ・今後は、架けた5個の巣箱の観察をベースに、上部植栽地の細い苗木の除伐・記念樹ゾーンの植栽の剪定・竹林の整備など、これから迎える冬にしか出来ない活動に取り組む予定です。

■巣箱架け。産座を付け、3個全て架け終わりました。架け役は身軽な現役GSの金井さんで、他のメンバーがサポート。



産座作り



- ・(左・上) 産座づくり。今年は、社友GSの吉田さんが手配された麦わらで、良い産座が出来ました。
- ・(右) 巣箱の履歴。これは2013.11.2に作り、2014.9.13に改装したもので、再架設が2014.11.08ということになります。



巣箱の履歴



巣箱No.3



巣箱No.4



巣箱No.5

- ・No.3と4は自然林の中の巨木に。
- ・No.5は、展望台の木で、フクロウの棲む森づくり活動のシンボルにもなります。

■活動頂いた 12名の皆さん。お疲れ様でした。

黄色の破線の所に巣箱No.3が見えます。・・・見えますか？



ササが邪魔してます。

- 基地から少し上がった所に巣箱No.3を架けています。
- 巣箱からは見晴しが効きますから、絶好の場所ですが、カモフラージュの杉の皮が効果を発揮して自然に馴染み、よく探さないと判りません。
- これで今年架けた巣箱は、上部植栽地の2個と合わせ、合計5個になります。
- フクロウはどの巣箱を選んでくれるか？ これからの活動日が楽しみです。



食後のワイワイがやがや。楽しいひと時です。



- 金井さんの奥さん手作りの「ゆずカラシ」を少し落として頂くトン汁はマイウーで、この後すぐ完食しました。本当にごちそうさまでした。
- 上のレジ袋の中身は、地主の藪さんのご厚意で頂いたデザートのみかんです。

■シイタケのホダギの本伏せ。

古いホダギを外し、新しいホダギに掛け替えました。収穫が楽しみです。

ホダギの本伏せが終わり、ほっと一息。



古いホダギ



様子を見る古いホダギ

- 掛け替えた新しいホダギには、直射日光を避けるため寒冷紗を掛けて保護しています。
- 外した古いホダギの内、まだシイタケが出そうなホダギは様子を見ることにし、組み替えて寒冷紗で覆いました。残りのホダギは、カブト虫などの甲虫の産卵場所にする為、朽ちるまで積み重ねておきます。

■暗渠周りの草刈り。 2年近く放置していたので、草が伸び、折り重なっていましたが、ほぼ7割程度刈り込みました。



埋れていた排水管が姿を現しました。



林道直下の斜面もスッキリし、暗渠の口も姿を現しました。

- 暗渠の壁面の土が雨で流れ落ちた為、石組が、露出し始めています。
- すぐ崩れることはありませんが、このまま放置すると更に露出が進むと思われることから、穴埋めをする必要が有ります。



香遠さん寄贈のサクランボの木も健在でした。